

提 言 書

日 時 令和2年7月22日（水） 午後1時30分から午後3時10分まで
場 所 紀の川市役所 庁議室
出席者 仁藤 伸昌 箕輪 光芳 林 宏信 恩賀 要 野村 壮吾
根来 信之 前川 吉央子

審議事項

- ・令和元年度行財政改革推進計画の進捗状況について
- ・令和2年度行財政改革推進計画の重点推進項目について

審議内容

令和元年度行財政改革推進計画の進捗状況について審議を行うとともに、令和2年度行財政改革推進計画について、住民サービスの著しい低下を招くことなく行財政改革を着実に進めることのできる内容になっているか審議を行いました。

人口減少に歯止めがかからず、市税や地方交付税の減収が見込まれるなど、今後も地方自治体にとって厳しい状況下にあります。

そのような中、第3次行財政改革大綱に掲げられた項目について、順次、重点的な取り組みが行われていることが確認でき、着実な成果が得られていると判断できました。また、今年度以降の取り組みとして行財政改革大綱にもとづき、着実かつ具体的な取り組みが計画されていることも確認できました。

つきましては、下記のとおり委員会による提言を記しますので、今後の行財政改革への取り組みに反映されるようお願いします。

記

① 災害時排水ポンプ操作員の外部委託について

災害時に迅速かつ的確に業務を遂行できるよう委託業者に対して円滑に引継ぎを行っていただきたい。

② 働き方改革の推進について

長時間労働の是正、年次有給休暇の取得促進にあたっては、責任の所在を明らかにし、各課長が率先して推進していただきたい。

③ 自主財源の確保について

市税をはじめとする収納率の向上を図るとともに、ふるさと納税による寄附金のさらなる確保に向けた取り組みを引き続き行っていただきたい。